

# ミステリ読書案内

2023. 1. 24 発行元

第440号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

## E・S・ガードナーの代表作

法廷もの、そしてペリイ・メイスン・シリーズで有名なE・S・ガードナーの代表作。別名義のA・A・フェアの代表作は既に『ミステリ読書案内』第281号で紹介しているので、今回はガードナー名義に絞った。

### 法廷ものの先駆者として

既に何回か取り上げて紹介してきたようにE・S・ガードナーは「法廷もの」の先駆者であり、ペリイ・メイスン・シリーズが一番有名である。今回は、そのペリイ・メイスン・シリーズから一冊、検事ダグラス・セルビイ・シリーズから一冊、最後は『レスター・リース』にした。

ペリイ・メイスン・シリーズの中で何が代表作かについてはいろいろな意見があるだろう。『ピロードの爪』『夢遊病者の姪』『どもりの主教』『奇妙な花嫁』『幸運な脚の娘』…と候補を挙げることができる。ただ、

私は創元推理文庫から読み始めたために、当時創元から出ていた作品が印象に残っているのだ。よって今回は『義眼殺人事件』にした。

その後ポケミスに移り、ガードナー作品も連続して読むようになり、ペリイ・メイスン・シリーズは全作品を読んだ。ここには取り上げていないA・A・フェア名義のクール&ラム・シリーズを含めて私の好きな作家の一人とすることができる。文章も軽快で読みやすく、いぞかしい時には恰好の読物だった気がする。重苦しくならず、このレベルで法廷ものを書く作家が出てこないものなのだろうか。

### NO.3「レスター・リースの冒険」

1931年～1943年。ハヤカワ・ポケットミステリ用に編集したもの。本書の後に『新冒険』も出ている。

レスター・リースはおしゃれな義賊である。他の泥棒が盗んだ情報を新聞などで仕入れると、それを巧妙な手口で横取りしてしまう。そして成果の大部分を恵まれない人達に分けてしまうのだ。リースの従僕はスカトルだが、実は警察のスパイとしても働いている。リースはその点も上手に活用して泥棒も警察も手玉にする作戦を考える。その発想が一話一話面白いのだ。ホックの『怪盗ニック』みたいだ。本書には『キャンデーだまし』『鶴をまねるカラス』『モンキー・マーダー』『千ドルがードルに』の4編が収録されている。

### NO.1「義眼殺人事件」

1935年。私の手元にある本は1974年の創元推理文庫21版。初版は1961年に出ている。私がペリイ・メイスン・シリーズで最初に読んだのが『ピロードの爪』、次に読んだのが本書だった。秘書のデラ・ストリート、私立探偵のポール・ドレイクの連携が読みどころであり、常連のハミルトン・バーガー検事、ホルコム部長刑事との法廷場面も緊迫感を持って描かれる。

メイスンの事務所にピーター・ブルノードという人物が訪ねてくる。彼は義眼であり、昼用、夜用、充血した時用と義眼を使い分けていたという。ゆうべそのうちの充血眼を盗まれたと訴える。義眼は精巧なもので、製造業者に聞けば持ち主は直ちに判明するだろうとのこと。そしてそれが犯罪現場に悪用されるのではないかと。メイスンは事件が起きる前に手だてを講じる約束をする。続いてメイスンを訪ねてきたのはハリー・マクレーンという青年とその姉。マクレーンはバセットという金融業者に雇われていて、店の金を使い込みしたと証言する。義眼のブルノードの件との関わりないように見えるのだが…。やがてバセットが殺され、その手には義眼が握られていることがわかる。ブルノードは逮捕され、複雑な事件はやがて法廷に移り…。

### No.2「検事踏みきる」

1948年。検事ダグラス・セルビイ・シリーズの第8巻目。(第一作になる『検事他殺を主張する』は第328号で紹介している) 私の手元にある本はハヤカワ・ポケットミステリの486番。検事セルビイがいるのはマディソン・シティ。ペリイ・メイスンよりは地方での活躍になる。セルビイを支えるのは保安官のレックス・ブランドンとクラリオン新聞のシルヴィア・マーティン記者の配役。アルフォンス・ベーカー・カーという悪徳弁護士が敵役となる。

冒頭、ドリス・ケインという女性が娘夫婦が住むマディソン・シティを訪ねてくるところから話は始まる。自宅に行ってみると留守のよう。新聞がたまり、牛乳の配達も置いたままで、配達を中止する旨の紙が入っていた。隣人に聞くとパーティを開いて騒ぎがあり、ピストルのような音もしたと聞かされる。郵便受けの底にあった鍵を見つけて中に入ってみると、寝室のベッドには大量の血痕が残っていた。それで保安官に連絡が入り、検事の活動が開始されるわけである。郵便受けにはカー弁護士からの手紙が入っており、何か水面下での策略が動いているらしいことを窺わせる。やがて、娘の夫が姿を表し…。少しずつ事件は進展していく。